

## 令和5年度 飯塚市民意識調査結果について

### I 調査の概要

#### 1. 調査の目的

本調査は、時代と共に変化する市民意識の動向と、多様な市民ニーズを、科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討・推進・評価の基礎データとして活用するために実施したものである。

#### 2. 調査期間

令和5年7月1日～7月24日

#### 3. 調査対象

対象者	調査対象数	回収数（回収率）	有効回収数（有効回収率）
市内に居住する 18歳以上男女	6,000人	2,749人（45.8%）	2,747人（45.8%）

#### 4. 調査方法

郵送配布、郵送回収、インターネット

#### 5. 調査委託先

株式会社 西日本リサーチ・センター

### II 回答者の属性割合

単位：%

	性別			年齢							
	男	女	回答しない	10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65～74	75以上
R5	43.0	53.2	3.8	1.5	6.1	11.0	16.2	14.4	10.4	28.0	12.4
R2	42.1	55.8	2.0	1.0	6.7	11.0	13.7	13.8	9.8	23.8	20.1
H29	43.6	56.4		1.6	8.5	15.0	16.2	19.2	9.9	20.1	9.4
H27	41.3	58.7		2.7	15.1	20.2	20.3	19.6	15.3		6.7

※性別について令和2年度から選択肢に「回答しない」を追加

単位：%

	二瀬	幸袋	鎮西	菰田	立岩	飯塚東	飯塚・片島	鯉田	穂波	筑穂	庄内	颯田
R5	12.7	7.7	8.9	3.4	8.2	7.0	7.9	5.2	17.7	9.1	8.5	3.8
R2	13.3	8.4	7.5	3.4	7.6	6.5	8.0	5.3	20.3	7.6	8.0	4.1
H29	8.1	8.1	7.8	8.3	9.9	9.1	6.4	9.1	8.5	8.5	8.4	7.9
H27	7.2	8.5	7.1	8.3	9.0	9.2	10.1	8.9	7.8	8.4	8.0	7.7

報告書には、質問項目ごとに、性別、年齢別、地区別の結果を示している。

### Ⅲ 調査結果概要

#### 1. 行政サービスに対する満足度・重要度

##### ・取り組みの満足度

順位	満足	不満
1	保健・医療の充実と連携	定住環境・公共交通の充実
2	消防・救急体制の充実	商業の振興
3	健幸都市づくりの推進	観光の振興
4	スポーツの振興	公園・緑地の整備
5	災害・減災対策の充実	就労支援の充実と労働環境の整備

##### ・施策の重要度

順位	重要度が高い	重要度が低い
1	消防・救急体制の充実	商業の振興
2	災害・減災対策の充実	観光の振興
3	保健・医療の充実と連携	定住環境・公共交通の充実
4	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が安心して暮らせるまちづくり
5	安心して産み育てやすい環境づくり	公園・緑地の整備

##### ・ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

①各項目の満足度の平均値と重要度の平均値から分析(平均値が高いものが重要度・満足度高い)

順位	施策の重要度が高いが満足度が低い	施策の重要度が高く満足度も高い
1	安心して産み育てやすい環境づくり	消防・救急体制の充実
2	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	災害・減災対策の充実
3	障がい者福祉の充実	保健・医療の充実と連携
4	子ども・若者の健全育成	確かな学力を育む教育の推進
5	道路の整備	子育て支援の推進

②各項目の不満足度と重要度を乗じた値により算出(不満や重要度の大きい項目の値が高くなる)

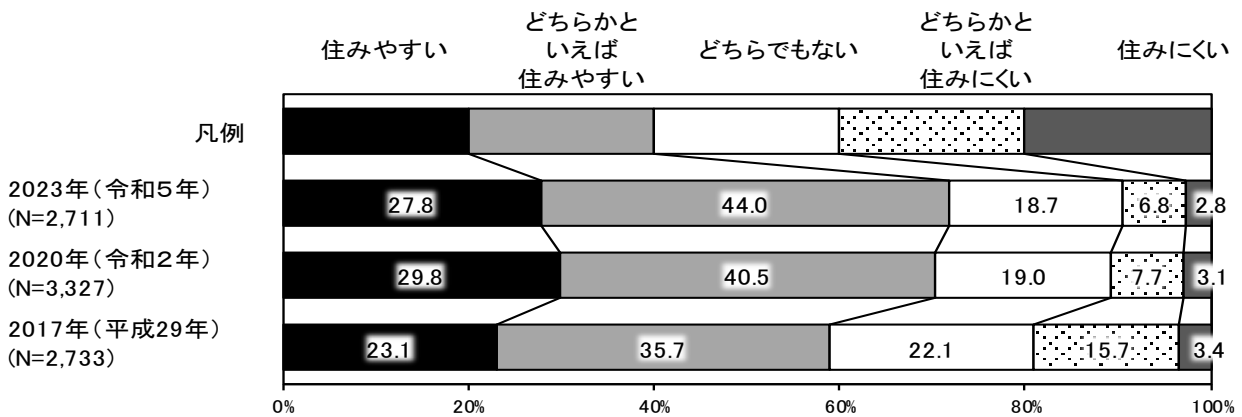
順位	さらなる対策が必要なもの	現状の対策で充実しているもの
1	定住環境・公共交通の充実	人権尊重のまちづくり
2	商業の振興	歴史的・文化的遺産の保護と活用
3	就労支援の充実と労働環境の整備	国際交流・多文化共生の推進
4	安心して産み育てやすい環境づくり	健幸都市づくりの推進
5	道路の整備	スポーツの振興

2. 今後特に力を入れてほしいまちづくりの取り組み

(最も重要・2番目に重要・3番目に重要な合計)

順位	令和5年	令和2年	平成29年
1	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が安心して暮らせるまちづくり
2	定住環境・公共交通の充実	定住環境・公共交通の充実	子育て支援の推進
3	子育て支援の推進	災害・減災対策の充実	安心して暮らせる地域づくり
4	災害・減災対策の充実	子育て支援の推進	災害・減災対策の充実
5	安心して産み育てやすい環境づくり	安心して産み育てやすい環境づくり	保健・医療の充実と連携

3. 飯塚市の住みやすさ、住みにくさ



・住みやすいと思う理由

順位	令和5年	令和2年	平成29年
1	買い物が便利である	自然災害が少ない	この土地への愛着がある
2	この土地への愛着がある	買い物が便利である	自然災害が少ない
3	自然災害が少ない	自然環境がよい	自然環境がよい
4	自然環境がよい	この土地への愛着がある	買い物が便利である

・住みにくいと思う理由

順位	令和5年	令和2年	平成29年
1	交通の便がよくない	交通の便がよくない	交通の便がよくない
2	買い物が不便である	買い物が不便である	まちに活気がない
3	まちに活気がない	まちに活気がない	買い物が不便である
4	働く場所が少ない	働く場所が少ない	働く場所が少ない

## 4. 飯塚市に対する愛着（割合）

単位：％

項目	令和5年	令和2年	平成29年
愛着がある	29.1	32.2	33.9
どちらかといえば愛着がある	40.0	38.3	30.4
どちらでもない	23.3	21.2	22.7
どちらかといえば愛着がない	4.0	3.6	6.4
愛着がない	2.7	3.3	3.7

## 5. 飯塚市への定住意向（割合）

単位：％

住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば移転したい	移転したい	考えていない
35.9	34.4	7.9	3.0	17.8

## 6. 今後の市民の負担と行政サービスのあり方（割合）

単位：％

負担がかなり増えても多様なサービスを受けたい	負担がある程度増えても現在の水準のサービスを受けたい	負担はそのままである程度サービスが低下しても仕方ない	負担を減らし最低限のサービスが受けられればよい
5.0	36.0	27.3	27.3